

# 会議等速報

令和4年10月31日

件名	令和4年度 第1回鹿児島市食育推進委員会	作成課	保健政策課
日時	令和4年10月26日(水)14時00分～15時10分		
場所	市役所 西別館2階 202・203会議室		
出席者	公募委員1名、学識経験者1名、消費者団体等の代表者2名、 教育福祉関係団体の代表者3名、保健医療関係団体の代表者2名、 農林水産業関係者の代表者1名 計9名(欠席8名)		
市出席者	事務局：保健政策課長、健康づくり係長、係員		
会次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>議題</p> <p>(1) 第三次かごしま市食育推進計画目標値における最終評価</p> <p>(2) 第四次かごしま市食育推進計画について</p> <p>(3) 食育に関する事業実施状況及び実施計画</p> <p>(4) 第7回かごしま食育フェスタ実施計画</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>		
主な意見等	<p>議題</p> <p>(1) 第三次かごしま市食育推進計画目標値における最終評価</p> <p>(委員) 目標値について、達成したものもあれば改善傾向にあるものもある。今回の結果を踏まえて、次期計画の目標値はどのように設定しているのか。</p> <p>(事務局) 国の目標設定を参考に設定している。前計画から引き継いでいる目標値については目標値もそのまま引き継いでおり、目標値を達成したものについては増加率等を踏まえて引き上げて設定している。</p> <p>(委員) 目標値「栄養バランス等に配慮した食生活を送っている人の割合の増加」、「生活習慣病予防や改善のために普段から、食生活に気を付けている人の割合の増加」について、「栄養バランス」「食生活に気を付ける」と言っても年代、性別等によって個人差があるのではないかと。全ての栄養をバランスよくとった方がよい人もいれば、疾患によっては特定の栄養を抜いたほうがよい人もいるのではないかと。この中で一律に「バランス」を取らせることは難しいと思う。</p> <p>(事務局) 無作為でアンケート調査を行っているため、個人に対応することは難しいところである。おっしゃる通り食生活に個人差があることは事務局としても理解しているが、ここでの「バランス」「食生活に気を付ける」は、一般的な漠然とした捉え方を想定している。</p> <p>(委員) 目標値「農林漁業体験を経験した人の割合の増加」について数値が低いのは、「農林漁業体験」の捉え方がより高度な体験(田畑に行き農業体験をするというような)になっているのではないかと。小学校でのミニトマト栽培や</p>		

家庭菜園のようなもっと身近でできる体験を含んでいないので低いのではないだろうか。

(事務局) 次回のアンケート調査は、注釈で農林漁業体験の具体例を入れるようにしたいと考えている。

## (2) 第四次かごしま市食育推進計画について

(委員) 新たに目標値「学校給食への地場産物活用率」が設定されているが、市の方で学校に地場産物を収めてくれる業者を紹介してもらえると良い。現在も学校給食では地場産物を使うように努めているが、業者の情報を持ち合わせていないため、業者とのマッチングをしてもらえると有り難い。

(事務局) 関係課に伝える。

(委員) 朝食の欠食率について、学校等でも指導は行っている。しかし、朝食を準備するのは保護者であり、保護者が理解していないと実践することは難しいところである。コロナ禍でPTA等も少なくなり保護者に接する機会も減少し、また、経済格差等の課題もあり、小中学校のみでこの問題を解決することは難しい。

(事務局) 朝食の大切さについては、世代問わず周知広報等を行っていきたいと考えている。

(委員) 目標値「地域等で共食したいと思う人が共食する割合」とはどのような事を想定しているのか。

(事務局) 様々な事情があり、一人で食事をとらないといけなくなっている子どもや高齢者がいるので、そのような方々について子ども食堂やふれあい会食など地域での取組を推進していきたいと考えている。

(委員) 子ども食堂や保育料の無償化等で、保護者が自分で子育てをするのではなく、地域が育てるといような他力本願になる恐れがある。家庭における食育の推進として、親子クッキング等色々な取組をされているが、家庭で食育がなされていない人はこのような場には足を運ばないと思う。このような食育へ目を向ける余裕のない方々へのアプローチはどのようにしていくのか。

(事務局) 講座等の回数を増やすと、食育に熱心な方々は講座等により足を運ぶようになり、そうでない方との格差が広がるという課題はある。市としてもこの格差をなくすような働きかけをしていかないといけないと考えているが、まだ具体的な取組はないところである。良い取組等あればぜひ、教えていただきたい。

(委員) 子の食生活は親の食生活がそのまま引き継がれている。親の関心が薄い家庭は子の状態(欠食、むし歯、肥満等)も悪く、そうでない家庭との2分化が進んでいるように感じる。やはりこの無関心層をいかに引き上げるかが市全体の底上げにつながるのではないだろうか。

(事務局) ご意見を今後につなげていきたい。

(委員) 朝食欠食について、保護者と給食業務従事者への知識改善として働きかけ

を行ったことがある。民間の力だけではうまくいかなかったので、行政が一緒に取り組んでもらえるとうまくいくのではないだろうか。

(3) 食育に関する事業実施状況及び実施計画

(委員)「食育推進事業」の若年層へのリーフレット配布はどのように行うのか。

(事務局)市内高校3年生を対象にこれから進学や就職で一人暮らしが始まる人向けへの啓発リーフレットを配布する予定である。受験等落ち着いた3月頃の配布を予定している。

(委員)3月はほとんど学校に行かない時期なので、配布が難しいのではないかと。それよりは新3年生を対象に4月に配布して、1年かけて活用してもらった方がよいのではないかと。

(事務局)配布時期については検討したい。

(委員)「食生活改善推進事業」では、今年度から親子向けの郷土料理教室が打ち切られた。参加者からも好評をいただいていたようであったため不本意であるので、ご意向を伺いたい。

(事務局)打ち切りではなく、各保健センターの状況に応じて実施を判断するよう、変更したところである。昨年度までは全保健センターでの実施としていたが、料理教室も増えてきていることや、センターによっては人集めに苦労しているところもあったため、各センターの実情に合わせて実施としたところである。

(4) 第7回かごしま食育フェスタ実施計画

(委員)さつまいもに特化したブースはないのか。さつまいもは鹿児島の特産品であり、栄養価も優れている。朝食の欠食の課題があるが、手軽にとれる食材でもあると思う。朝食と地産地消という2面からPRできるようなブースがあると良いのではないだろうか。

(事務局)さつまいもに特化したブースはないが農産物の販売をするブースと、朝食についての展示を行うブースがある。いただいたご意見を各ブースに伝える。